



第3号 令和7年5月23日(金)発行

敦賀気比高等学校・同附属中学校 教育相談室

メールアドレス sodan@tsurugakehi.ed.jp

ありがとうございます

生徒にプリントを配付すると、「ありがとうございます。」と言ってくれる。プリントを3枚配れば、3回とも言ってくれる。5枚配れば、5回とも…しかも、多くの生徒が言ってくれる。これって…

聞けば、小学校の時に教わり、続けている当たり前のことで、ふつうの感覚のようである。このことを知って、私は小学校の先生方の教育にしみじみと感謝した。しかも、そのことをふつうに言うことのできる生徒たちが多いことにも感激し、素晴らしいと思った。心が整っていなければ、「ありがとうございます。」とはスッと出てこない。まずは、落ち着いた気持ちで授業に臨んでいるということだ。



私たちは、他人から施しを受けたとき、「ありがとう。」「ありがとうございます。」などと言う。相手が何もしていないのに、「ありがとう。」と言えは、「えっ?」となり、気味悪がられる。これは、相手の行為に対して感謝を示すという流れ(習慣)がふつうになっているからだ。

相手の言動によって、私たちには様々な感情が湧き上がる。相手が居てこそ、様々な感情を味わうことができる。それは、あなたひとりでは難しい。良い思いだけでなく、時には、嫌な思い、辛い思い、悲しい思い…などもあるだろう。しかし、それは「あなた」の思いであって、あなたにとっては一つひとつが貴重な体験である。…ということは、相手が居るだけで既に、「ありがとう」なのである。人に限らず、あなたの周囲に多くの物や様々な現象が存在するだけで、「ありがとう」なのである。



部活動の試合で相手が居なければ、試合にはならない。居てくれて「ありがとう」である。相手が居ても、試合をする場所がなければ、試合ができない。在ってくれて「ありがとう」である。コンクール、発表会、展示会など、場所がなければできない。観客がいなければ寂しいものだ。だから、相手に対して、その場に対して、「ありがとう」の意を込め、頭を垂れて「礼」をする。

勝敗をつけるために試合をする。優劣をつけるためにコンクールを開く。だから、結果は出てくる。結果によっては、喜ばしいこと、悔し過ぎること、残念なこと…などがある。だから、「あなた」は一喜一憂すればいい。そして、次に向けてまた精進すればいい。しかし、あなたにとっては、それらのすべてが貴重な体験であり、「ありがとう」なのである。

周囲は、有り難く尊いもので充ち満ちている。まずは、「ありがとうございます」の気持ちから始めよう。



スクールカウンセリングのご案内

6月は、下記の日程でスクールカウンセリングを行います。気持ちが少し疲れて、誰かと話してみたいと思う人は、担任の先生あるいは教育相談室まで申し出てください。

第1回 12日(木)

第2回 20日(金)

※ スクールカウンセラーの門石さんのご都合で、日程が変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

